

令和元年度第1回伯耆町子ども・子育て会議 議事録

日 時 令和元年6月25日(火) 10:00~12:10

場 所 伯耆町役場本庁舎3階大会議室

出席委員 12名

笹間直樹(保育所保護者) ※会長

井澤奈緒美(保育所保護者)

小早川梓(小学校保護者) ※副会長

岩田範子(こしき保育所所長)

清水さとみ(小規模保育所こどもパル所長)

兵江律子(子育て支援センター所長)

米田述史(岸本放課後児童クラブ支援員)

大田秀明(岸本小学校放課後子供教室コーディネーター)

森安和美(主任児童委員)

小澤敦彦(岸本小学校校長)

後藤弥(教育長)

阿部泰(副町長)

欠席委員 なし

事務局 福祉課(木村利郎、景山昌文、森谷典子)

健康対策課(景山祐子、山上志保)

教育委員会事務局(幅田典代)

1. 開会

発言者	発言内容
事務局	只今より、令和元年度第1回伯耆町子ども・子育て会議を開催する。議事に入るまでの間は、事務局で進行する。

2. 委嘱状交付

発言者	発言内容
事務局	町長より委員へ委嘱状の交付を行う。任期は、本日から2年間。

3. 町長あいさつ

発言者	発言内容
町長	この会議で扱うテーマは、ホットで次々と話題が出てくるが、それはそれだけ重大で重要なテーマであるということ。会議では活発な議論をお願いしたい。10月の消費増税に伴い、幼児教育・保育の無償化や高等教育の機会の充実などがされる予定であるが、ともすれば、公的な役割が負う部分のみがどんどんクローズアップされ、それを大きくすることが、あたかもこのテーマの正しい出口に向かう道だということが、意識として少し強くなり過ぎてはいないかと危惧している。家族が出来、子どもが大きくなっていく過程というのは、家族が成長する、人生が一番充実する場面だと思う。だからこそ、家庭での教育

	<p>や子育ての機能を充実させ、次の時代を担う子ども達にとってより良いものとなるよう、公的な役割としてどうあるべきか。答えはなかなかないが、一方的に経費の問題とか、公的なサービスをどんどん積み重ねていくことが、必ずしも良い事かどうかということは、色々な議論があると思う。</p> <p>「足りないところはしっかり補う。」「充実させるところは充実させる。」といったことはベースにしながらも、家庭での子育ての充実ということ、より皆が意識して、共にどう支えるのか、新しい時代にあったイメージや課題の抽出、方法論などを議論いただきたい。</p>
--	--

4. 委員・事務局自己紹介～会議成立報告

発言者	発言内容
事務局	本日が第1回目の会議となるので、自己紹介をお願いします。
	(委員・事務局の自己紹介)
事務局	ここで、会議成立の報告をする。 委員総数 12 名のうち出席委員 12 名と、委員の半数以上の出席。伯耆町子ども・子育て会議条例第 6 条の規定に基づき、本会議が成立していることを報告する。

5. 伯耆町子ども・子育て会議について

発言者	発言内容
事務局	続いて、次第の「5. 伯耆町子ども・子育て会議について」事務局より概要を説明する。
	(事務局説明)
事務局	説明した内容について、質問はないか。
	(質疑なし)

6. 会長・副会長の選任について

発言者	発言内容
事務局	伯耆町子ども・子育て会議条例第 5 条の規定により、委員の互選によりこれを定めることとなっている。選出方法について意見はないか。
委員	(意見なし)
事務局	事務局から推薦させていただきたいがよいか。
委員	(異議なし)
事務局	会長にあさひ保育所保護者会長の笹間直樹さん、副会長に伯耆町 P T A 協議会副会長の小早川梓さんを推薦する。
委員	(拍手多数)
事務局	会長、副会長から、あいさつをお願いします。
会長	子育てに関しては初心者だが、初心者ならではの感覚で、伯耆町の子どものために何かできればと思う。
副会長	親になって 10 年に満たないが、先輩方の指導を受けて頑張りたい。
事務局	条例第 6 条第 1 項の規定により、会議は会長が議長となるため、ここからの議事進行は、笹間会長をお願いします。

7. 議事

(1)「伯耆町子ども・子育て支援事業計画の実施状況について」

発言者	発言内容
会長	事務局に説明を求める。
事務局	(事務局説明)
会長	説明のあった議事について、質問・意見はないか。
委員	延長保育の保育所ごとの内訳はどうなっているか。
事務局	保育所ごとに集計していないが、こしき保育所が一番多く、ふたば保育所と溝口保育所が同程度。
委員	極端に利用が少ない保育所はないか。
事務局	こどもパルは他に比べて利用が少ない。なお、保育所ごとの利用状況については、次の会議で資料として提出する。
会長	その他、ないか。
委員	延長保育について、18時30分を1分でも過ぎると延長となると聞いた。厳しい取り扱いだと思った。 また、児童クラブは、保育所とは違い18時30分で終了する。利用する保護者のニーズ等により見直しが必要ではないか。
事務局	延長保育については、延長保育料がかかるため、どこかで線引きをしないといけない。厳しいという点については、例えば「31分が良くて32分が駄目なのか」という問題も出てくるので、18時30分という線引きを厳格に運用している。ご理解いただきたい。 また、児童クラブとの終了時間の違いについては、保護者のニーズも把握しながら、必要があれば見直しも考えたい。
会長	よろしいか。(委員了解) その他ないか。
委員	病児・病後保育を広域実施していない市町村はどこか。また、子育て支援センターの利用が多くなったとのことだが、保育士2名体制で足りているか。
事務局	境港市、日野町、日南町が単独で実施。支援センターについては、所長の兵江委員から現状説明をお願いしたい。
委員	移転後、利用が非常に増えたが、支援センターは保護者が一緒に利用されるため、職員は保護者のサポートや相談支援などが中心となる。2人で少ないということはない。また、去年は年間を通じての利用があったが、今年は、早い時期に保育所に入所される利用者もあり、継続的な利用が少なくなった。
会長	その他、ないか。
委員	ファミリーサポートセンター事業は、実施上の課題が多いと説明があったが、実際にこうした事例や課題が報告されているか。
事務局	他県の例だが、過去に事故が起きている。提供会員は、一定の研修を受けるが、保育士等の資格は不要。また、提供会員の自宅など、外部の目が届かない閉鎖された場所で行われるため、児童虐待という点で

	<p>も問題があると考えている。こうした課題をクリアするのが非常に難しいと町ではとらえている。</p> <p>ちなみに事業を実施している近隣他町からは「登録はあるが、保育所の入所が進んだり、一時保育の利用によって、現在はほとんど利用がない」といった状況を聞いている。</p>
委員	<p>結果的に個人に預けることになるので、非常に難しいというか、きちんとした施設に預けた方がいいと思う。</p>
委員	<p>この制度は、ベビーシッターの制度のことか。</p>
事務局	<p>ベビーシッターとは異なる。例えば、保護者が仕事の都合で保育所の迎えに間に合わないときに、提供会員が保育所へ迎えに行き、その後保護者が迎えに来るまで家庭で預かる。また、病気で保育所、小学校に行けない時に見てもらうなど。伯耆町では類似の事業も実施しており、ニーズは概ねはまかなえていると考えている。</p>
委員	<p>わかった。</p>
委員	<p>高齢者福祉だと、ヘルパーなど組織に所属する人が行うが、これはそうではなく、個人と個人のため、危険が増す可能性はあると思う。</p>
委員	<p>以前、保育所で勤務している時に、他の市町村に転居した保護者が（その自治体の）ファミサポ事業を利用され、子どもを提供会員が迎えに来られたことがあった。迎えた後は、その子の兄弟に引き渡されたようだが、高齢の女性で車の運転とか大丈夫かなと心配に思った。</p>
事務局	<p>委員が言われたような、子どもの送迎利用はニーズとしてはあるようだが、（前述の）近隣他町では、「都会であれば公共交通機関を利用ができるが、この辺では、提供会員自らが車の運転をするということになる。交通事故が起きたときの責任の問題がある。」という理由で実施していないとのことだった。</p>
委員	<p>未実施の事業がいくつかあるが、これに関しては、これからもやるという流れで計画だけはしておく方が良いのか、それとも伯耆町はしない方向で、計画から外した方が良いのか。</p>
事務局	<p>計画記載の 17 項目（事業）については、国が子ども・子育て支援事業計画に盛り込む必要があるとしている項目。実施する予定が無いものについては計画から外するという考え方もあるが、計画期間中のニーズ変化による見直しの可能性も考慮し、実施しない方向であっても、項目としては記載したいと考えている。</p>
会長	<p>その他、ないか。</p>
委員	<p>二部小学校の保護者等が運営する児童クラブについて、他の児童クラブとは違った形態での運営となっているが、その経緯を伺う。</p>
事務局	<p>ニーズが少数のため事業実施には至っていなかったが、保護者を中心に、預かり保育的な取り組みを試行的にされるようになった。そこで、運営されている保護者に、今後の運営や支援について要望を聞いたところ、引き続き自主的な運営を希望されたため、町は補助金による支援を行うこととなった。そのため、他の児童クラブとは運営方法が異なっているが、町の児童クラブと同じ基準による運営をお願いしている。</p>

委員	どの程度の人数が利用されているか。
事務局	登録 8 人のほか、臨時的な利用があると聞いている。
会長	その他ないか。(→質疑なし) 次の議事に移る。

(2)「伯耆町子ども・子育て支援に関するアンケート調査の実施について」

発言者	発言内容
会長	事務局から説明を求める。
事務局	(事務局説明)
会長	説明のあった議事について、質問・意見はないか。
委員	前回のアンケート回収率が 50%に満たなかったという状況を町としてはどうとらえているか。また、前回の回収状況を踏まえて、今回のアンケートの実施方法の検討を行ったか。
事務局	高い回収率ではなかったが、回収率が 40%を超えていればアンケートとしては成立しているという見方もあり、統計データとしての信頼性は一定程度確保できたと考えている。 また、前回は学校や保育所を通じて配布したが、対象者がわかるため回答しにくいという意見があったため、今回は配布方法を郵送とし、より回答が得られることを期待している。
委員	放課後子供教室(の説明文)について、伯耆町では「週末」や「公民館」での実施はしていないので削除した方がよいのでは。
事務局	削除する。
委員	児童館は町内にはあるか。
事務局	1 か所あり、三部の文化センターに併設されている。
委員	問 31 は選択肢が 5 つあるが、他の設問(問 25,26)では 4 つとなっている。問 31 も 4 つにしているかどうか。
事務局	前回の調査に合わせたが、他の設問には「どちらでもない」といった選択肢はないので、意見のとおり削除したい。 (他の委員も了解)
会長	その他ないか。(→質疑なし) 次の議事に移る。

(3)「その他」

発言者	発言内容
会長	事務局から他の議事あるか。
事務局	(次回の開催日程について) 今回は、9 月下旬としたい。具体的な日にちは、あらためて調整させていただく。また、開催時間について、委員からの意見・要望を伺いたい。なければ、平日の日中で調整したい。
会長	事務局から提案のあった次回開催日程及び時間について意見ないか。
委員	午後を希望する。 早目に調整してもらえばよい。

事務局	では、次回開催は9月下旬。時間は、平日の午後に開催できるよう調整する。
-----	-------------------------------------

8. その他

発言者	発言内容
会長	続いて、「8. その他について」事務局から願います。
事務局	(幼児教育・保育の無償化の概要について説明)
会長	質問はないか。
委員	(質疑なし)

9. 閉会

発言者	発言内容
会長	本日の会議の日程は全て終了した。これをもって、令和元年度第1回伯耆町子ども・子育て会議を終了する。